



柏市自転車活用推進計画 「R6.11.15 説明資料」



令和6年度第3回柏市交通政策審議会

本日の説明範囲

- 柏市自転車活用推進計画の目次構成の第6章の説明および全体構成のふりかえりを行います。

<目次構成>

第1章. はじめに

- ・計画策定の背景・目的
- ・計画の位置づけ
- ・計画対象地域・計画期間
- ・計画の構成

第2章. 現状及び課題

第3章. 計画で目指す将来像と計画目標

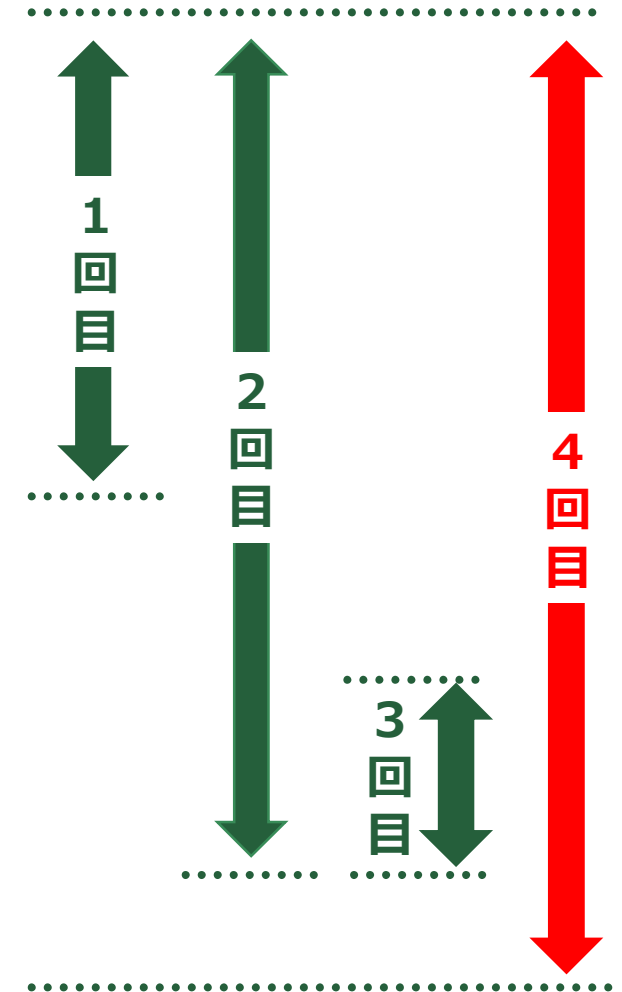
- ・4つの計画目標（テーマ）：①はしる ②つかう ③とめる ④まもる

第4章. 実施すべき施策、実施スケジュール

第5章. 自転車ネットワークに関する計画

第6章. 計画の推進体制、計画のフォローアップ及び見直し方法

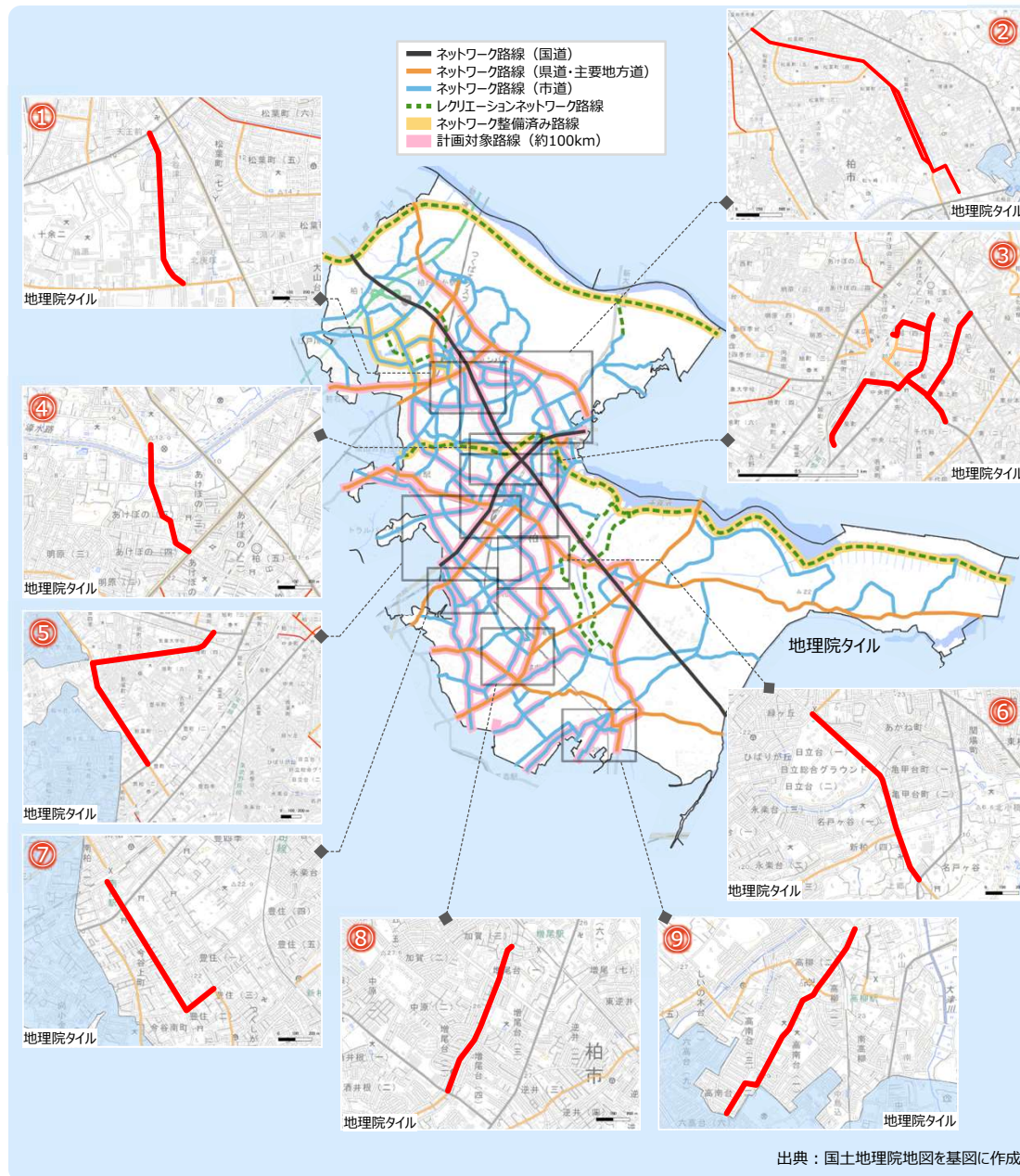
<本日の説明範囲>



自転車通行空間 優先的に整備する路線

本計画では、既に設定された柏市自転車ネットワーク路線（H27策定）のうち、新たに今後10年で整備すべき、以下①～⑨の路線約15kmを「優先整備路線」として設定し、整備進捗を図ってまいります。

なお、国・県道については、市道の整備進捗も鑑みながら、道路管理者と協議の上で整備を推進します。



出典：国土地理院地図を基図に作成

柏市自転車活用推進計画 〈概要版〉

計画で目指す将来像と計画目標

柏市
総合計画

未来へつづく先進住環境都市・柏

柏市総合交
通計画

くらし・まち・ひとの活動をささえ、未来へつづく交通を実現

自転車活用の側面から、市の交通全体の理念の実現へ寄与

交通体系での
自転車の役割

- 短中距離における快適な移動の提供
- 交通結節機能（公共交通）や回遊性の向上
- 持続的でWell-Beingな移動の提供

柏市自転車活用推進計画

本計画の
目的

市民の
健康増進

環境負荷
低減

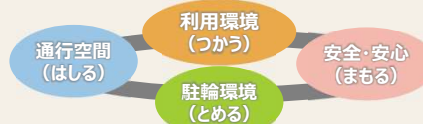
地域の
活性化

本計画で目指す
将来像（案）

安全で快適な自転車利用環境の創出と
魅力ある自転車まちづくりの実現



施策の実行
イメージ



はしる

安全で快適な道路空間、自転車通行空間をつくる

目的地まで、自転車で快適にお出かけしやすい環境とするために、安全で快適に通行できる自転車通行空間の計画的な整備・維持管理を推進します。また、適切に自転車通行空間を利用してもらうため、路上駐車の対策を推進します。

とめる

自転車を適切に駐輪できる環境をつくる

多様化する自転車や、通勤、買物、観光等のさまざまな自転車によるお出かけニーズに対応した駐輪場の環境整備を推進します。また、放置自転車対策を引き続き行います。

つかう

自転車を活用し、様々な場面で楽しめる環境をつくる

いつでもだれでも自転車で気軽に移動できる機会を増やし、まちなかへのお出かけにつながるような自転車の活用、また、自転車通勤や観光における自転車利用が増えるような環境づくりを推進します。

まもる

自転車を地域の交通手段として活用していくために、交通ルールや走行マナーの意識を高める

自転車利用者だけでなく、道路を利用するだれもが安全に安心して快適に通行できるお出かけ環境を創出するため、自転車利用者の交通ルール遵守やマナー向上に関する啓発など安全に自転車を利用する取組を推進します。

計画の目的

本計画では、「はしる」「つかう」「とめる」「まもる」という4つの基本的な視点とし、自転車の利用における安全性、利便性、快適性の総合的な向上により、市民の健康増進や地域の活性化、環境負荷の低減を図るとともに、市が目指す将来像「未来へつづく先進住環境都市・柏」へ寄与する持続可能なまちづくりに繋げることを目的とし、誰もが安全で快適に自転車を活用できるまちづくりに取り組んでまいります。

計画期間

令和7年4月～令和16年3月（10か年）
（中間5年で進捗に応じた内容の見直し）

施策1 自転車が行きやすい空間づくり

取組1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の整備

① 計画的な自転車通行空間整備（優先整備路線の設計・施工）

② 道路空間の再配分の検討

取組2 自転車通行空間の通行方法に関する広報啓発

① 市独自の自転車施策の象徴となる共通サインの検討、設置

② 自転車通行空間の利用方法（通行方法等）を周知する案内看板等の設置

③ 様々な路面標示手法等の検討

取組3 違法な路上駐車の削減に向けた広報啓発

① 案内看板等による広報啓発

取組4 自転車通行空間の適切な維持管理

① 舗装補修、段差解消

② モデル路線等で先行整備した路線における矢羽根等について、路線全体の状況を鑑みて修繕を実施

施策2 自転車の安全に配慮した環境づくり

取組1 生活道路における安全対策の検討

① 自動車の速度抑制などの安全対策の検討

はしる



車道混在・自転車専用通行帯の整備検討

指標	現況値	目標値
◆自転車通行空間の整備延長	7 km（2024年）	→ 22 km

施策1 ニーズに応じた駐輪環境づくり

取組1 多様な駐輪ニーズに応じた駐輪場の整備

① 子乗せ自転車や電動アシスト付き自転車などの自転車の多様化や新たなモビリティに対応した駐車スペースの確保

② 施設や設備の更新に合わせ、二段式や駐車間隔が狭く利用しにくいラックの改修や屋根設置等の環境整備

取組2 駐輪場の安全対策

① 防犯カメラや照明灯の設置

② 自転車ヘルメットの管理方法の検討

③ 施設、設備等の計画的な修繕

取組3 施設や料金収受の機械化、電子決済化

① 定期利用の自動更新機機の設置

② 一時利用の料金収受の電子決済の拡充

③ 満空情報の提供等

取組4 駐輪場の適正配置の推進

① 鉄道高架下用地活用等を鉄道事業者と連携

② 短時間駐車需要への対応

③ 空きスペースを活用したシェアサイクルポートの設置

④ 再開発事業、土地区画整理事業等をとらえた駐輪場の再配置・統廃合の推進

施策2 放置自転車を無くすために

取組1 民間事業者との協力による駐輪場整備、駅周辺巡回の実施

① 大型店舗新築時における駐輪場の附置義務の活用等による駐輪場整備

② 市営駐輪場における短時間駐輪の無料化

③ 駅周辺街頭巡回による放置自転車対策

取組2 放置自転車削減に向けた広報・啓発

① 地元、警察、鉄道事業者等の関係機関と連携した発信

② 啓発グッズ等の街頭キャンペーンの実施

③ 市公式情報発信媒体を活用した呼びかけ

とめる



市内駐輪場の電動アシスト付き・子乗せ自転車専用駐輪スペース



指定管理制度により運営している市営駐輪場（柏駅東口第一駐輪場）

指標	現況値	目標値
◆需要に応じた駐輪場スペースの適正配置（利用率）	89 %	→ 100 %

施策1 日常の移動を自転車で

取組1 シェアサイクルの導入・レンタサイクルの充実化

① 民間事業者との連携協定の締結及び公共用地等へのステーション設置促進

② 市内のレンタサイクルの充実化（観光なども考慮した多様な車種の選定等）

③ 手賀沼周辺レンタサイクルに関する統一した利用形態の検討

④ 新たなモビリティ（電動キックボード等）の導入検討

取組2 環境に優しく健康的な移動手段としての自転車利用の普及啓発

① 自転車の利用による環境負荷の軽減や健康メリットに関する情報を市HP等で発信

② 手賀沼サイクリングロードにおける市民サイクリングの実施検討

取組3 自転車通勤に関する情報提供

① 市民の自転車通勤の促進に関する市HP等での情報発信

② 事業者が適切に自転車通勤制度を導入・運用できるよう、「自転車通勤制度導入に関する手引き（自転車活用推進官民連携協議会）」の市HP等での情報発信

③ 「自転車通勤推進企業宣言プロジェクト」への応募促進のための情報発信

施策2 柏を楽しむサイクルツーリズム

取組1 自転車マップ等による自転車利活用に係る情報発信、PRの充実

① 柏市全体における自転車の総合的・統一的な情報の発信・充実

取組2 手賀沼サイクリングロード等を楽しむ自転車利用環境の充実

① レンタサイクル・シェアサイクルで巡る市内観光ツアー等の市民活動の後援

② 市内のサイクリングロードに関する情報発信や統一した案内表示

③ 県道我孫子流山自転車道線の柏市区間のルート検討等、千葉県事業との連携構築

④ 利根川サイクリングロードへの動線検討

⑤ サイクリングロード上の休憩施設の拡充

取組3 サイクルトレイン等の取組との連携

① 市ホームページにおけるサイクルトレインの情報周知

② サイクルトレイン利用者へのサイクリング情報発信

③ サイクルバスの運行検討

取組4 自転車利用の拠点施設の設置検討

① 公園・公共施設・観光施設等での自転車に関する情報発信（レンタサイクル・観光情報、ルール・マナー等）

② 市内コンビニエンスストア等への休憩・整備機能（サイクルラック・空気入れ・簡易工具）の配置検討

施策3 サイクルスポーツを身近なものに

取組1 自転車に関するイベント等の支援

① 柏市サイクル協会等の自転車関連団体やイベントの後援

取組2 誰もが楽しめるサイクリングツールの発信

① 新たな観光誘客や市民の運動機会につながるツールとして、タンデム自転車のレンタルに関する広報啓発

施策4 サイクル＆バスライド

取組1 公共交通＋自転車による移動への転換

① サイクル＆バスライドによる効率的な移動方法の普及啓発

② バス停付近へのシェアサイクルポート設置検討

③ 実施済箇所における運用面における課題把握

つかう



手賀沼サイクリングロード



B.B.BASE手賀沼



北柏ふるさと公園（デガチャリ）に導入されたタンデム自転車

施策1 自転車に関わる事故を減らすために

取組1 様々な年齢層に合わせた交通安全教育機会の充実

① 幼児と保護者、中学生、高齢者向け交通安全教室の実施

② 幼児などを対象とした交通安全教材の貸し出し

取組2 交通安全の意識向上を図る広報啓発

① 自転車に乗るときの交通ルール・マナー周知活動

取組3 道路利用者（歩行者・自転車・自動車等）の安全促進

① 各種関連団体を連携した通学路安全点検

取組4 地域と連携した交通安全指導の強化

① 柏警察署、道路管理者、柏交通安全協会、千葉県柏地区安全運転管理者協議会、地域コミュニティ（町会）等との連携（活動援助、助言）

施策2 自分自身をまもるために

取組1 自転車ヘルメット着用の広報啓発

① 自転車事故における死亡リスクの低減を図るため、交通安全イベントや各種広報媒体における周知啓発や教育機関と連携し、すべての年齢層へ自転車乗車用ヘルメットの着用を促進

② 千葉県の補助金を積極的に活用し、ヘルメット購入補助金を実施

施策3 万が一の事故に備えて

取組1 自転車損害賠償保険等の加入促進のための広報啓発

① 警察、学校、自転車店、通勤先事業者等の関係機関と連携した情報発信

② 市HP等の広報媒体を通じた保険加入の情報周知

③ 保育園等の施設入園時における保護者向けの周知

まもる



市内通学路点検の様子



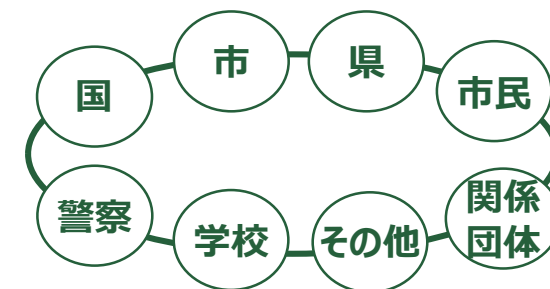
道の駅でのマナーアップキャンペーンの様子

指標	現況値	目標値
◆交通安全教育の開催回数	39 回	→ 現況値よりも増加
◆ヘルメット着用に関する情報発信回数	1 回	→ 年間 4 回

指標	現況値	目標値
◆シェアサイクルステーション数	—	→ 中間評価時に決定
◆自転車に乗るきっかけ作りとなる情報発信回数	0 回（2024年）	→ 年間 4 回

（１）計画の推進体制

- 市、国や県、関係団体、学校、警察、市民等がそれぞれの役割の中で、相互に連携を深めながら自転車活用の推進に向けて取り組む。

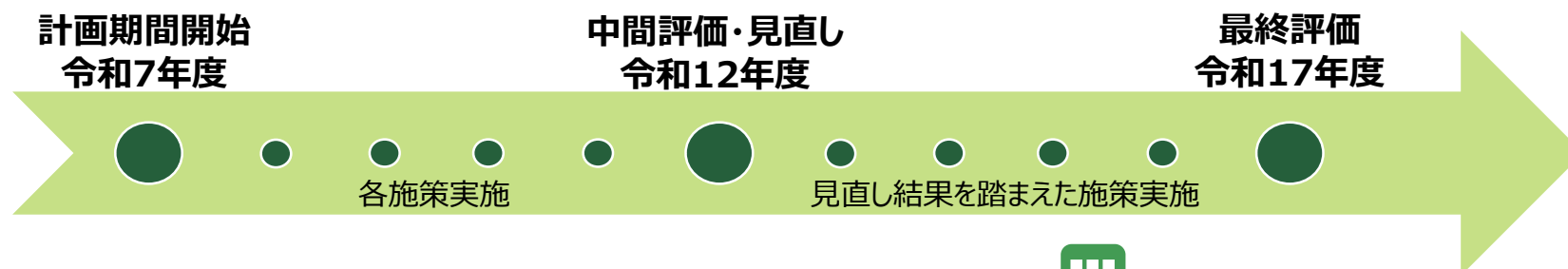


（２）関係者の連携・協力

- 国や県，関係機関と連携しながら先導的な取組を推進するとともに、他の都道府県との広域的な連携による施策展開や情報収集を行う。
- さらに、地域の様々な主体からなる自転車活用に係る協議会組織の立ち上げ支援や、当該組織との連携などを図る。

（３）計画のフォローアップ

- 計画の進行管理にあたっては、計画の進捗状況や指標の達成状況を把握し、PDCAサイクルを着実に展開する。 ⇒ **指標設定の考え方はp.5参照**
- また、5年に1度の見直しとして、進捗状況の評価結果等を提示し、柏市交通政策審議会において計画や事業の見直し・改善等についてご意見を伺う。



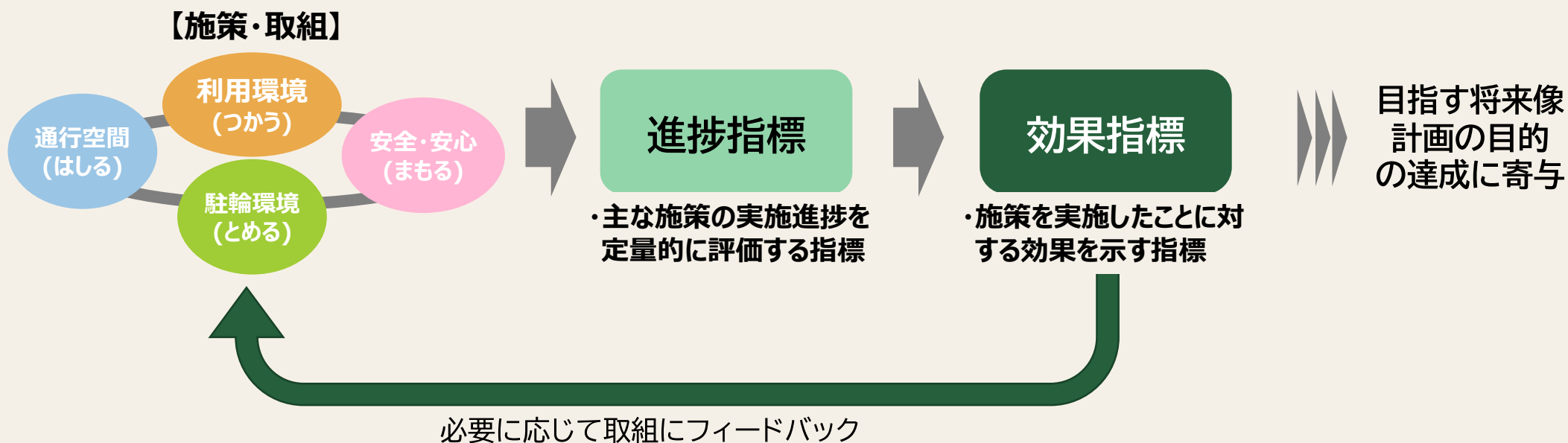
（3）計画のフォローアップ

■指標設定の考え方

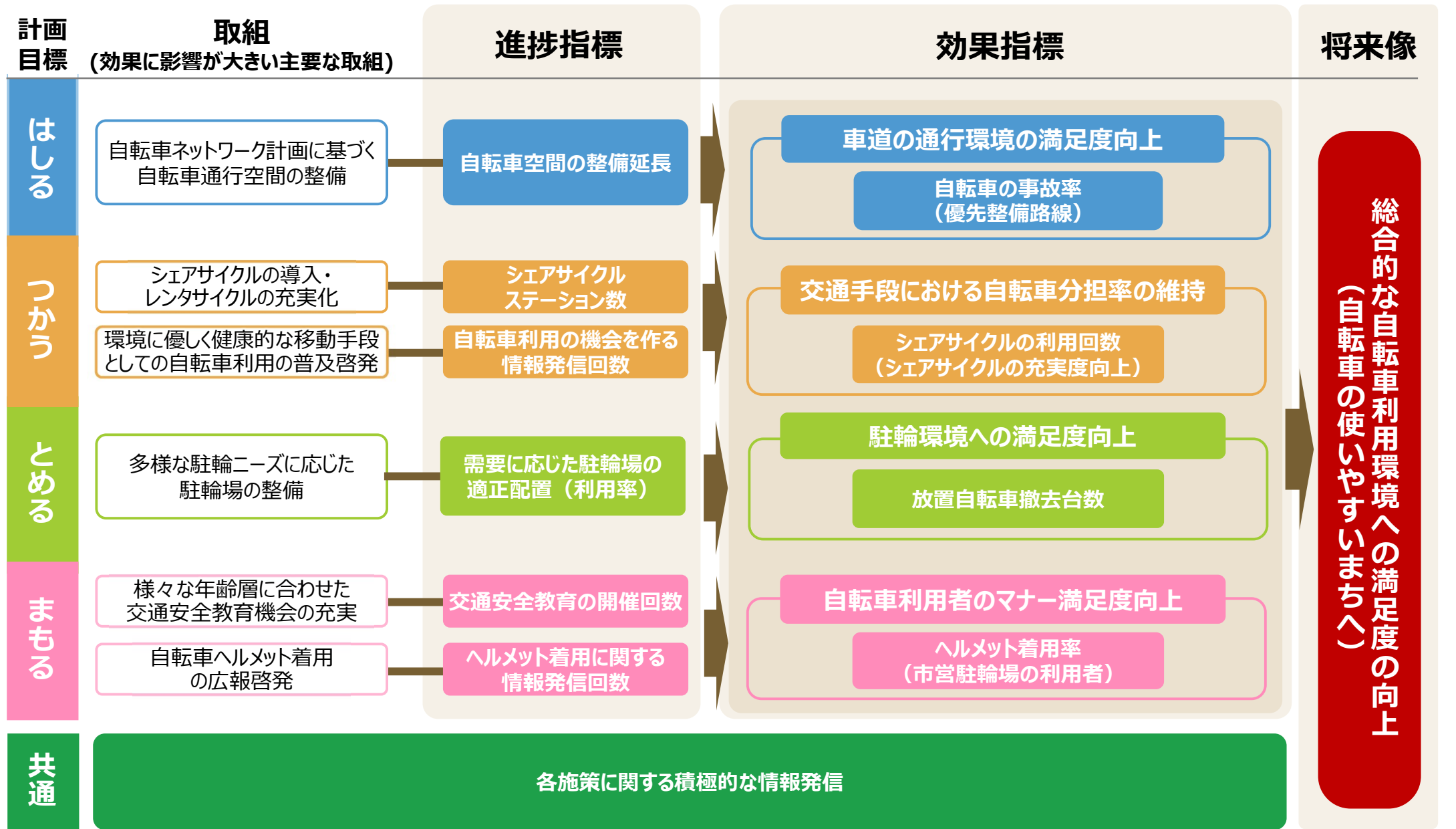
- 自転車の活用推進に向けた取組の進捗状況や効果を継続的・定量的に把握し、取組のフォローアップを適切に行うために、進捗指標・効果指標を設定する。その際、上位・関連計画との連動に配慮する。

○**進捗指標**：各施策の進捗状況を評価するための定量的な指標

○**効果指標**：施策の効果を確認するための指標



指標および目標値（案）



進捗指標の目標値（案）

計画目標	指標	現況値 (R6年度)	目標値 (R17年度)	測定方法
はしる	自転車空間の整備延長	7km	22km	市事業調書
つかう	シェアサイクルステーション数	—	中間評価時に決定	市事業調書
	自転車利用の機会を作る情報発信回数	1回／年	4回／年	市事業調書
とめる	需要に応じた駐輪場の適正配置（許可率）	89%	100%	市事業調書
まもる	交通安全教育の開催回数	39回（R5年度）	現況値よりも増加	市事業調書
	ヘルメット着用に関する情報発信回数	1回／年	4回／年	市事業調書

効果指標の目標値（案）

計画目標	指標	現況値 (R6年度)	目標値 (R17年度)	測定方法
はしる	自転車の事故率（優先整備路線）	2.00（件/km・年）	現況値よりも減少	警察庁オープンデータ
	車道の通行環境の満足度	「満足」「やや満足」：5%	現況値よりも増加	市民アンケート調査（R12及びR17）
つかう	シェアサイクルの利用回数	—	中間評価時に決定	市事業調書
	交通手段における自転車分担率の維持	12.7%（H30）	現状維持	東京都市圏PT調査（R10）
とめる	撤去自転車台数	729台／年	500台／年	市事業調書
	駐輪環境への満足度	「満足」「やや満足」：21%	現況値よりも増加	市民アンケート調査（R12及びR17）
まもる	ヘルメット着用率（市営駐輪場の利用者）	5%	1%／年 増加	カウント調査
	自転車利用者のマナー満足度	「満足」「やや満足」：9%	現況値よりも増加	市民アンケート調査（R12及びR17）

共通	各施策に関する積極的な情報発信	数値化しない
----	-----------------	--------